



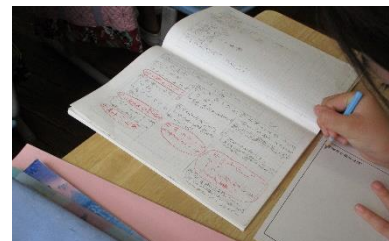
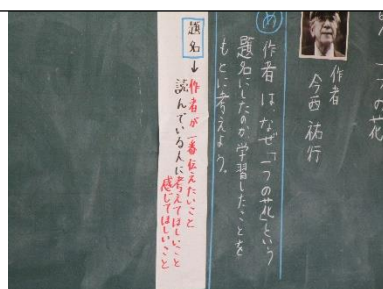
4年国語「一つの花」の題名に込められた思いとは

6月18日(火)4年1組、6月20日(木)4年2組と2回の研究授業を行いました。本時のねらいは、「一つの花」の題名に作者が込めた思いについて、これまで学習したことをもとに考えることです。授業の流れは、「1これまでの学習を振り返る。2本時のめあてを確認する。3自分の考えを書く。4自分の考えを、友達に伝え学び合う。5本時を振り返る。」で進めました。

2本時のめあてを確認しています。



1学習を振り返っています。



3自分の考えを書いています。



4自分の考えを友達に伝え学び合っています。



5本時の振り返りをしています。

白南風小学校では『「できた」「わかった」「考えることが楽しい」子どもの思考力・表現力の育成～読んで書く、読んで説明する活動における主体的、対話的な深い学びを目指して～』を研究テーマとして、授業づくりに取り組んでいます。

この研究テーマに迫るために、1回目の授業の反省を生かし、2回の授業を更にステップアップさせる方法で研修を深めました。

- ・学習の足跡(掲示資料)を使って、これまでの学習を振り返る。
- ・教科書の叙述に沿い根拠を示して考える。
- ・作者が題名に込めた思いに迫るため、今西祐行さんの説明を加える。

以上のことを改善し授業を仕組みました。

子供たちは、掲示してある資料は一度授業で押さえたものなので、スムーズに学習の振り返りができました。また、これまで教科書の大事なところには、線を引いたり囲んだりしていたので、考える手がかりになりました。物語に書かれている時代の様子を子供たちに理解させるのは、なかなか難しいのですが、作者自身も戦争に従軍されていたことなどの説明を加えたことで、題名に込めた作者の思いを考えるヒントになりました。

このことは、研究授業後の授業研究会において授業の成果として共有しました。

子どもたちの理解が深まれば、子どもたちも授業が楽しくなるし、指導する我々教師もやりがいを感じます。今後も授業研修を積み重ねていきます。

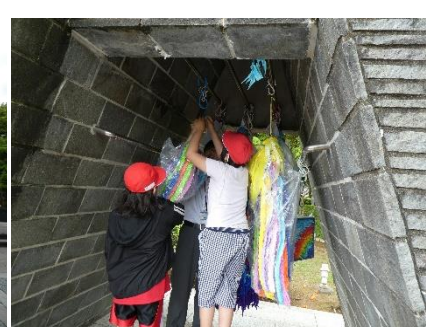
赤ちゃんふれあい体験学習



赤ちゃんふれあい体験学習を6月24日と25日に、幼児教育センターで行いました。この学習は、毎年5年生が取り組んでいる学習です。24日の体験学習には、13組の赤ちゃんとお母さんに参加していただきました。各班では、2～3名赤ちゃんとおふれ合うことができました。最初は緊張気味の5年生でしたが、赤ちゃんをあやしたり、お母さんからお話を聞いたりしていく中で、次第に打ち解け合い、あっという間に1時間が過ぎてしまいました。子供たちは、6月12日に赤ちゃんへの接し方や抱き方などの事前学習をしていましたが、やっぱり本物の赤ちゃんとおふれ合うのは違います。接し方の難しさを感じたとともに赤ちゃんのしぐさや表情から元気をもったり、自分の成長を振り返ったりしていました。とてもよい学習ができました。

(参加していた一人のお母さんから「先生ー！」と声をかけられました。何と小学校6年生の時に担任した女の子でした。卒業して以来17年振りの再会でした。明るく元気だった女の子が、しっかりしたお母さんとなっていました。私も年を取ったはずです。)

みんなで心を込めて折った千羽鶴を届けました



4年生は、6月21日に長崎へ平和学習に行ってきました。

平和公園、原爆落下中心地、原爆資料館を見学して学習を深めました。見学の際は、平和ガイドさんと一緒に巡り、たくさんのお話も聞くことができました。戦争が終わって79年が過ぎ「継承」の難しさがよく話題に上がります。今回子供たちは、長崎の地に行き、被爆遺構を見て、感じたことが多くあったと思います。子供たちの思いを大切に育てていきます。

平和祈念像前では、平和集会を開きました。白南風小学校のみんなで折った千羽鶴を4年生が代表して、平和祈念像横にある「折鶴の塔」に届けました。そして、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、世界の平和を願いました。